



### 中学3年生までの小児医療費助成の実施は 誰にでも利用できるようにせよ

日本共産党 佐藤 文昭

**一 福祉施策について**  
国民健康保険税の引き下げについては、子どもへの均等割を廃止すべきと考えるがどうか。

**答** 国において子どもの均等割を軽減する支援制度が検討されているため、今後の動向を注視する。

**問** 平成31年4月から小児医療費助成制度の通院助成を中学3年生まで拡充することだが、内容はどうのようか。

**答** 県内他市の状況を勘案し、持続可能性なども考え検討していく。

**問** 本市の児童虐待相談受付件数は平成29年度113件で28年度と比べ35件の増だが、どう考えるか。

**答** 要保護児童対策地域協議会の強化により、関係機関との連携がより深まったことで潜在的な児童虐待の通告・相談につながったものと考えられる。

### 二 環境施策について

**問** 草類の分別収集が始まったが収集車が回収して行かないとの声



### 高齢者が安心して暮らすことのできる 地域社会を目指して

自民・新政 高橋 照雄

**一 地元小売業の廃業に伴う買い物難民・弱者について**  
地元小売業の廃業により、日常の買い物に不便や苦労を感じる高齢者に対する支援はどのようか。

**答** 平成30年10月から栃窪地区で買い物支援を試行実施しているが、今後、検証を行い、市内全体の買い物ニーズを把握し、民間企業や社会福祉法人などの協力の下、買い物支援について検討したい。

**二 市内の歴史的建造物(文化財)について**  
国の登録有形文化財である蓑毛大日堂など、老朽化した歴史的建造物の修復費用の捻出は厳しい

**答** 国の登録有形文化財である蓑毛大日堂など、老朽化した歴史的建造物の修復費用の捻出は厳しい



誰でも利用しやすい小児医療費助成制度を



### 地域の歴史資源を活用した魅力的なまちづくりに努めよ

創奏クラブ 谷 和雄

**一 地域の歴史資源を活用した魅力的なまちづくりについて**  
新東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査が市内各所で

**問** 新東名高速道路建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査が市内各所で

**答** 所有権は県にあるが、発掘場所の地権者は中日本高速道路株式会社であることから、両者と連携を図り、活用策を検討していく。

**問** 他市の例では、導入の前年の

**答** 他市の例では、導入の前年の

**問** 足腰が悪くて長距離の移動が困難な高齢者がいるが、買い物弱者を救済するための対策はどうか。

**答** 地域高齢者支援センターなどにおいて、ヘルパーによる買い物代行や宅配サービスの利用を提案するなど、生活の状況に合わせたきめ細かい支援に努めている。

**問** 見守りキーホルダー登録事業を平成30年度中に実施予定であり、認知症でも安心して暮らすことのできるまちづくりに目指したい。

**答** 見守りキーホルダー登録事業を平成30年度中に実施予定であり、認知症でも安心して暮らすことのできるまちづくりに目指したい。



高齢者にやさしいまちづくりを(写真は、認知症サポーター養成講座の様子)



### 家庭ごみ無償化継続は 市民の協力が不可欠

民 政 会 八尋 伸二

**一 ごみの減量について**  
平成37年度末に伊勢原清掃工場が停止し、1日当たり90tのごみ焼却ができなくなる。減量はどの程度進んでいるのか。

**答** さまざまなごみ減量施策を行い、29年度の可燃ごみ排出量は、28年度と比べて約1300tの減量となり、計画値より約400t上回るペースで減量が進んでいる。また、30年8月末までの収集量では、29年8月の累計と比べて5.4%の減少となった。

**問** ごみ減量の目標達成に対してどのように考えるか。

**答** 家庭ごみの有料化をせず、ほだのクリーンセンター1施設処理体制が実現できるかどうかは、市民力が問われるため、市民一丸となり、資源物の分別に取り組みたい。また、事業系ごみの削減にも取り組み、目標を達成したい。

**二 図書館のさらなる活用について**  
**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を



歴史的資源を活用したまちづくりを(写真は、三廻部東耕地遺跡発掘調査の様子)



高齢者の買い物支援を(写真は、とちくば買い物クラブの様子)



### 家庭ごみ無償化継続は 市民の協力が不可欠

民 政 会 八尋 伸二

**一 ごみの減量について**  
平成37年度末に伊勢原清掃工場が停止し、1日当たり90tのごみ焼却ができなくなる。減量はどの程度進んでいるのか。

**答** さまざまなごみ減量施策を行い、29年度の可燃ごみ排出量は、28年度と比べて約1300tの減量となり、計画値より約400t上回るペースで減量が進んでいる。また、30年8月末までの収集量では、29年8月の累計と比べて5.4%の減少となった。

**問** ごみ減量の目標達成に対してどのように考えるか。

**答** 家庭ごみの有料化をせず、ほだのクリーンセンター1施設処理体制が実現できるかどうかは、市民力が問われるため、市民一丸となり、資源物の分別に取り組みたい。また、事業系ごみの削減にも取り組み、目標を達成したい。

**二 図書館のさらなる活用について**  
**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を

**問** 入館目標の達成状況はどうか。

**答** 平成29年度の入館者数は25万24人で、目標の26万2000人を



ごみダイエット大作戦の啓発ポスター

**要 望** 本市の図書館運営は、コストカットが優先された入札による業務委託や指定管理となっており、職員全員が自ら考えて行動できる体制とはなっていない。図書館が地域の情報拠点となるには、どのような体制が良いのか、しっかりと検討してほしい。



整備が進む県道705号の様子

**意見** 調査・研究もよいが、駅前通り沿いの空き店舗を市が借りて、起業に関心がある若者に開放すれば、それだけでにぎわいが生まれるのではないかと。この場所は若者が集うのに便利である。経済産業省が小中高校生向けに「起業家教育プログラム」の事例集を出す時代であり、まず若者が起業を目的に集う場が必要である。

**要 望** 本市の図書館運営は、コストカットが優先された入札による業務委託や指定管理となっており、職員全員が自ら考えて行動できる体制とはなっていない。図書館が地域の情報拠点となるには、どのような体制が良いのか、しっかりと検討してほしい。